

高齢化社会での貢献度を高める事業展開を！ 交通部会 部会長 山口 満

昨年10月に日新さんさんバスが本格運行を開始して以来、早や一年になろうとしています。乗車人数は、月間割当ての750名を大きく下回り、約600名前後に止まっています。約150名のマイナスです。

これは、さんさんバスを乗り継ぎ、温泉などを楽しみに行く会＝さんさん会の利用実績がこれまで最高の330名から約180名に低下しているのが最大の要因と思います。会員の高齢化による体力の低下やイベント内容のマンネリ化がもたらす結果かも知れません。



資料映像集から

しかし、このコミュニティバス事業をこれから先維持存続させなおかつ発展させていくためには、乗車人数の95%を占める高齢者の協力なくしては不可能です。従って今後も高齢者の人たちが喜んで参加できる企画を推進していきます。「楽しみと笑顔は若さを保つ秘訣」をモットーに、さんさん会員の実績目標を月250名とし、それを達成できるような企画の立案を積極的に進めていきます。

次に、一般乗車人数については、その設定を月400名と設定。一般乗客の利用状況は、僅力ですが着実に新規乗客の増加が見られます。従いまして、高齢化社会の中にあつて、買い物難民、身体障害者、独居老人(約800人)などの人たちが社会生活を営む上でのお手伝いや安心できるやさしい街づくりを目指して事業活動の展開をしていきたいと思ひます。

また、サポーター(まちづくり役員など)の皆さんには常日頃積極的に対応して頂いています。スポット(単発乗車)においては、日新小学校はじめ花園幼稚園、ひまわり児童館の皆様にも大変なご協力を頂いております。お礼を申し上げます。月100名以上の乗客を目指します。

こうした内容で、月間割当目標750名を達成させていきたいと思っています。そのために今後も部会一同精一杯の努力を重ねてまいります。是非ともご協力の程を宜しくお願いを致します。

文化部

今後の活動

文化部 部長 山崎 豊

これから先、文化部は、10月15日の公民館まつり前日祭のウォーク、2月25日の百人一首かるた会を開催する予定です。ウォークに参加者を集めることができる新しいイベントを考案中です。良いアイデアをお教え下さい。

また、かるた会では昨年同様、県かるた協会の方に実演をお願いするつもりです。これらの行事に、より多くの皆さんの参加をお願い致します。

乾徳の夜空に
轟きました



乾徳の老若男
女が民踊に興じていました。また翌日には、20回目を迎えた「けんとか夏まつり」が開催され、メインゲストにOTAIKO座「明神」を迎え、大いに盛り上がりました。めったに聞けない「明神」の華麗にして豪快な太鼓だけに、誰一人として席を立つことなく演奏を楽しんでいました。

乾徳で民踊と
夏まつり

8月5日午後7時から乾徳の乾公園で民踊大会が開催されました。福井のフニックスまつりも始まりましたがフニックスまつりそつちのけで、およそ80人の老若男



これからの活動に思いを寄せて

環境部会 副部会長 前川 栄寛

環境部会の第2四半期は、メインである地域の美化維持を中心に、福井商業高校の皆さんによるボランティアの受け入れを予定していましたが、雨のため中止せざるを得ませんでした。しかし、事前の打合せでは取り組みの熱意を十分に感じ取ることが出来ました。改めて感謝申し上げます。改めて感謝申し上げます。改めて感謝申し上げます。

今年は例年より雑草の生育が早かったのですが、毎回見違えるほどきれいにして頂きました。これは、定例清掃が定着してきたこととあわせて、今年は特に参加者が多く清掃作業が行き届いたせいだとも思ひます。ミソハギについてもその周辺はもち



花壇の整備をする参加者

ろん中の雑草も刈り取られ、ピンクの帯が見事でした。

今後の計画としては、9月25日の生きもの観察会、11月6日の布ぞうりづくりそして11月9日には藤島中学校ボランティアの受け入れがあります。

生きもの観察会は、今年も子ども達のいきいきとした姿を目にすることが出来るのを楽しみにしています。また、3回目となる藤中ボランティアは、エネルギーな動きで私達を元気づけてくれるものと期待しています。よろしくお祈りします。



アイビーもきれいに散髪